

## 平成22年度 第3回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成22年11月18日(木) 18:30~20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 10名…井上、鷹野、小野、河村、木曾、佐倉、前川、根本、増田、渡辺  
事務局 2名…市民生活課 山口、今野  
指定管理者 2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 高橋、沼崎  
傍聴者 0名

### 1 報告事項

最初に新しく就任した高橋 亮館長の紹介があった。

### [意見概要]

#### 1-(2) 利用状況・利用者の声について

(指定管理者)

- ・10月の利用者は少し増えた。日曜日の8時以降は利用が少ない。
- ・活動紹介コーナーの予定表は掲示している。
- ・障害のある子どもを連れてきた母親に子どもをキッズルームで遊ばせてほしい、とお願いされた。空いていたので利用してもらった。公共の場所なのでこれからもこのような要望があれば応えていきたい。
- ・コピー機が使いづらいというご意見。機器のところに分かりやすい案内を出すなど、対応を検討したい。みなさんのご意見があれば伺いたい。

(事務局)

追浜・久里浜のサポートセンターの利用について。利用者が少ない問題がある。情報紙のたろんにPR記事載せてもらい、利用を促していきたい。

#### 1-(3) 夏の市民活動体験実施報告

(指定管理者)

- ・昨年比では、参加団体は29だったが、今年は35の参加があった。
- ・参加者総人数(主催者も含む)は昨年1703名だったのが今年は2800名。体験受け入れは538名だったのが、1464名。ボランティア受け入れは56名から130名。
- ・2001年から2005年の推移を見ると参加者総人数3160名が最高だった。
- ・2001年の1700名から2005年の3160名、その後減って2008年1300名から2010年で2800名に増えた。3000名を越えるように努力していきたい。
- ・県立保健福祉大学の山崎学長のおかげで前年度15分間のPR時間が90分に増えた成果だ。
- ・高校生の参加がたくさんあった。ひとりが複数の団体を回ったり、学校の単位が取得できたり色々な要因があったようだが、高校生の参加も増やしていきたい。

#### 1-(4) 団体交流会の報告について

(指定管理者)

- ・前回6月に開催した47名36団体が今回9月では53名40団体に増えた。アンケートでは好評だった。第1回、第2回と違う人が来ているため、第3回では内容をよく考えて、参加者に飽きられないよう、継続していきたい。

## 1-(5) 市民活動推進セミナーの進捗状況について

(指定管理者)

- ・ I, IIは終了、Iは助成金がテーマ、IIは寄付、協賛がテーマ。寄付をお願いしに行く側の気をつける点などの講座。熱意のみではなく、相手がどんな考えでいるか、1分間のPRなどのワークショップ。為になったと感じた。
- ・ 参加者はIが23名+当日参加が数名、IIはキャンセルがでて、10数名だった。

## 1-(5) 市民協働推進の集いについて

(事務局)

市民協働に馴染みのない一般市民のため、市民協働への理解を深めるイベント・講演会の企画・実施する団体を募集するもの、お知らせ版にも載せて広く呼び掛けたい。

## 1-(7) のたろん 2011 の進捗状況について

(指定管理者)

- ・ 5月より月一回ずつ実行委員会を開いている。
- ・ 抽選で参加団体を決めているが、今回は昨年のようにブースの数を入れるだけ設定するのは避け、余裕をもたせたため、落選団体が増えた。落選団体には他のカテゴリでの参加を呼び掛ける予定だが、そこでもまた抽選になりそうだ。

ここまでの質問

(質問1)

館内貸出の項目で展示パネルなどの利用がないが、周知の問題が考えられる。対策は考えているのか。

(指定管理者)

再検討していきたい。

(質問2)

パソコン講座についてはどうか。

(指定管理者)

それは市とも話し合って、検討したい。

○追浜・久里浜の地域サポートセンターの利用について

(事務局)

追浜・久里浜の地域サポートセンターの利用について、どうしたら増えるのか、検討している。なにか良い案があればお伺いしたい。

(運営委員)

その地域についてのことはその地域個別にPR手段を考えていった方が良い。すべて一斉に同じPR方法を取るのでは効果が薄い。的を絞った方が効果的ではないか。その地域でAの団体の利用があって、Bの利用がないなら、「Aはこんなことで利用されていますよ」とBに知らせるなど。

(運営委員)

私は県のサポートセンターをよく利用するが、汐入を含め横須賀のサポートセンターのチラシをあまり見ない。

(指定管理者)

今も置かせてもらっているが、今後もっと置かせて頂くようにしたい。

(運営委員)

追浜・久里浜のサポートセンターは大きくPRするわけには行かないのか。

(事務局)

実際は役所屋と併設なので、サポートセンター専門の職員はいない。作業スペース、ミーティングスペースはあるが、独自の事業はやっていない。近隣の団体の打合せや資料の印刷に使ってもらえればと思っている。

(運営委員)

そういう人間的なことが原因ではないか。“サポート隊”のようなものを利用している団体の中からボランティアで募ってみてはどうか。

(事務局)

良い案をいただいたので、利用団体とコミュニケーションを取ってみようと思う。

(指定管理者)

就任してからまだ一度も県のサポートセンターや追浜・久里浜のサポートセンターを訪れていないので、今度伺いたい。

(運営委員)

自分は久里浜在住だが、今までほとんど利用していなかった。あまり知られていないのではないか

(運営委員)

自分はたまに久里浜でコピー機を利用するが、使い方を聞いても誰も知らない。使い方を失敗してお金を損してしまう。その点で、汐入のサポートセンターの方が良い。もう少し勉強して教えてほしい。パンフレットを貰いに行っても、こちらから声をかけないと動いてくれない。立地条件としては良いところだ。向こうから挨拶をするなど、利用者の立場に立った対応がほしい。

(運営委員)

私が行った時は「私は担当ではない」と言われたが、利用する側から見れば役所屋もサポートセンターも同じだ。

(事務局)

早速、改善に向けて話し合いたい。

(運営委員)

自分の経験では、コピー機などの機械は自分でマニュアルを作ると覚える。ぜひ作ってほしい。

(運営委員)

役所屋、サポートセンター共に、場所の掲示などをもっと目立たせたらどうか。追浜も久里浜も知らない人が多いのではないか。

(運営委員)

役所屋の職員の業務内容に、サポートセンターの業務が入ってなければ、あまり無理も言えない。

(事務局)

利用は増やしていきたいので、何か方法を考えたい。

## 2 審議事項

### 2-(1)市民公益活動団体について

(指定管理者)

資料8、3と5の団体は昨年の見直しの時に登録からはずれたために再登録した。

(質問)

資料8の6、よこばい歩きの会の活動内容にある、ビーチコーミングとは何か。

(指定管理者)

海岸で漂着物を拾うことで、そこから色々考えようということだ。

(意見1)

資料8の2、アクティブシニアの活動内容である、地域の活性化というのはどういうことを指すのか。公益判断に反対はしないが、疑問を持ちながら経過を見ていきたい。

(意見2)

資料8の4、助け合いハイランド1丁目なども、町内会イコール公益との判断が一般的だがもっと大きな広がり発展していくことが公益ではないのか。

(指定管理者)

スモールコミュニティ(小さな地域社会、共同体)ならではの出来ることもあるのではないか。

アクティブシニアに関しては、何かをする目的がある人が集まったのではなく、目的のない人が集まって何かをしようということで、その視点が興味深いと思う。

(意見3)

新規採用の社員のように、しばらく公益判断期間を設けてはどうか。

(それについての意見3´)

新規と言っても、いままでの団体の実績資料を提出しているのではないか。

(指定管理者)

こちらでも提出してもらった資料や、いろいろ話を聞いて公益の判断を出しているが、皆さんの意見を伺うことで、また違う視点でもこちらから団体にアドバイスをすることができるのでありがたい。

### 3 その他

指定管理者より

のたろんフェア 2011 の協力依頼があった。

以上